

名古屋市教育委員会臨時会
(議会上程後公開)

令和4年12月2日
午後3時00分
教育委員会室

議 事

日程1 令和4年度一般会計補正予算について

出席者

坪 田 知 広 教育長

西 淵 茂 男 委 員

船 津 静 代 委 員

鎌 田 敏 行 委 員

中 谷 素 之 委 員

事務局員7名 ※傍聴者0名

(坪田教育長)

ではこれより、日程第1、「令和4年度一般会計補正予算について」を議題といたしますので、事務局の説明をお願いします。

(大坪総務部長)

企画経理課長が不在のため、私総務部長が説明申し上げます。

「令和4年度一般会計補正予算 追加分」について説明させていただきます。

予算のうち、教育に関する事務に係る部分につきましては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第29条の規定により、教育委員会の意見が求められますので、説明資料を提出するものでございます。

11月補正予算につきましては、11月22日の教育委員会定例会議において、専決処分をご承認いただいたところでございますが、今回、追加で補正予算を行うことになりましたので、ご審議いただくものでございます。

1 ページの「概要」をご覧ください。「学校における新型コロナウイルス感染症対策の強化」でございます。

「1 趣旨」をご覧ください。衛生用品の購入など新型コロナウイルス感染症対策にかかる経費につきまして、令和4年度当初予算に所要額を計上しているところでございますが、この度、国庫補助の上限額が引き上げられたことに伴い、各学校に対して追加支援をするものでございます。

「2 内容」の「ア 一校当たりの追加配分額」では、今回、各学校へ追加配分する金額について掲げております。「イ 校数」では、今回の補正の対象となる全校数を掲げております。

2 ページに「参考資料」がございますので、ご覧ください。「1 学校種別・規模毎の追加配分額」では、学校種別・規模毎にこれまでの単価と加算単価等を表にまとめてお示しました。「B 基本単価」が当初予算における各校への配分額であり、今回の補正により追加配分する金額を「C 加算単価」として掲げております。

今回の補正で8,800万円余を追加することにより、総額で6億5,600万円余の支援を学校に行っていくものでございます。

「2 主な使用例」では、当初予算の使用状況について主なものを紹介させていただいております。ご覧いただければと存じます。

3 ページの「令和4年度予算について」をご覧ください。教育委員会所管分の令和4年度当初予算額は「① 1,808億300万円」ですが、6月補正予算により「② 10億3,200万円余」を増額し、11月補正予算「③ 19億5,000万円余」及び今回追加する補正予算「④ 8,800万円余」の増額が成立いたしますと、令和4年度の現計予算額は合計で、1,838億7,600万円余となるものでございます。

なお、本件につきましては、12月7日(水)に市議会へ追加議案として上程されるものでございますので、それまでの間は情報の取扱いにご留意いただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

(坪田教育長)

説明が終わりましたので、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

(中谷委員)

複数回の補正を経て、大幅に増額された予算がこのような案として出てきているということは、理解をいたしました。

子どもの感染症対策ということで、非常に必要だと思うんですが、いわゆる国レベルで5類への引き下げ議論というのも始まったということもありまして、コロナウイルスに対する社会の向き合い方というのも変わってきてるように思います。

その上で、今回これだけの予算ということ、以前のような形で執行するというイメージなのか、それともこれから先に、空調であるとか、お手洗であるとか、そういった形で少し永続的に使用する方がより有益ではないかと考えるんですが、そのあたりの見通しというのはいかがでしょうか。

(片岡学校保健課長)

ただいま委員からのご質問にありましたけれども、コロナウイルス対策に関する予算は、基本的には単年度の予算ということで、国から降りてきているものでございます。

今年度、年度当初にですね、国の方からの措置を得て、学校が機能的にコロナ対応ができるということで計上しているものに対して、これは上限の引き上げという形で、コロナ

第8波の状況を見込んでということでございますけれども、更にメリハリをつけたコロナ対策ができるというようなことで、今回この国の予算増額に対して、我々の方も応募していくという判断で追加予算をお願いしております。

まだまだコロナ対策、長い対応が続くと思いますので、今後例えば来年度も国において、支援の措置がされるものと思っておりますけれども、まずそこについては、情報を今取っているところでございます。

(中谷委員)

単年度予算ということは、単年度に使い切って、執行済みのことまで証明しないといけないということではないと思うんですが。つまりは、永続するような水栓であるとか、そういった既に困っている、そのコロナだけではないけれども、コロナにも関わるところというのも多々あると思うので、学校の衛生管理ということは、どっちみち老朽化とか、必ず修繕ということが、各所で必要かと思います。

自分が見聞きした名古屋市ではないんですけれども、小学校や中学校でも、昔のような衛生をですね、消毒を全部学校の中でしてという作業自体は、かなり減ってきているようにも思いますし、子どもたちはその通常の手洗いということはすると思うんですけど、そういう対策の変化ということもあると思うので、それも含みますけども、その水道であるとか、トイレであるとかってというような形でご使用いただくことの方が学校にはメリットになるのではという、そういう意味です。

(片岡学校保健課長)

もちろん先ほど申し上げたようにですね、消耗品を買って対策するということのみならず、少しそれが息長く使えるような、例えば、手を触れずに使える自動水洗であるとか、或いはですね、換気を保つためのサーキュレーター、少し大きな扇風機のようなものがありますけれども、こういったものもコロナ対策で十分有効なので、学校も工夫をして、そういったものを購入してですね、学校の少し継続的な環境整えるというか、そういった有効な使い方を、学校で考えて対応していただいているところですので、今回追加予算が認められたならば、その辺りのところもさらに力を入れることができればいいなというふうに考えてございます。

(中谷委員)

ありがとうございます。コロナの初めのころのマスク騒動のように、何とか手に入れたはいけど、結局使わずに残っているというようなことにならないように、予算がすごく貴重であることは間違いないと思いますので、そのようなちょっと中長期的な視点に立った使用の仕方がいいのかなというふうに考えました。

(船津委員)

ありがとうございました。今回は、学校における新型コロナウイルス感染症対策の強化になってますけど、幼稚園は別会計とか別予算になっているのか、幼稚園は何か追加

配分があるのか教えていただけますか。

(片岡学校保健課長)

今委員ご指摘のとおりですね、幼稚園は少し立て付けが別になっていまして、今回、国の方で上限額が引き上げになったこの部分の中に、幼稚園は入っていないので、今回の対象からは幼稚園は除かれています。

(船津委員)

そうすると、国としても今回の追加では幼稚園は対象じゃないっていう考え方なんですか。

(片岡学校保健課長)

そうでございます。

(坪田教育長)

他にご意見もないようですので、日程第1、「令和4年度一般会計補正予算について」につきましては、原案どおりお認めしてよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(坪田教育長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

これで、本日予定の案件はすべて終了いたしました。教育委員会臨時会を終了いたします。

午後3時11分終了